

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2024 年 4 月 11 日

学部・学科名 _____ 世界教養学科 _____

担当教員氏名 _____ ヴァミューレン服部美香 _____

1. 区分	語学研修
2. プログラム名称	春期海外研修
3. 渡航先国名	オーストラリア
4. 派遣期間	2024年2月16日(金)～2024年3月19日(火) 33 日間
5. 派遣先教育機関名	マッコーリー大学
6. 参加学生数	13 名
7. 派遣目的	授業で英語を学ぶとともに、ホームステイプログラムなどで多文化に触れる。英語文化圏で生活をする。
8. 派遣内容	様々な国・地域の学生とともに、習熟度別編成クラスで英語の4技能を伸ばし、社会学の特別講義(英語)を受講する。3週間にわたり学部の授業を聴講する機会(The Human Story, Australian Politics in a Global Context, Introducing Social Science など19クラス)もある。さらに、マッコーリー大学の学生と交流するセッションも用意されている。
9. 成果	研修中は多様な文化背景を持つ家庭にホームステイをし、プログラムに取り組んだ。 語学学習の絶好の機会となったことはもちろん、様々な経験を通して、視野を広がるきっかけになったようである。今後の学習・学生生活を有意義なものにする内容に溢れた研修となったことは帰国後のアンケート・レポートにもあらわれている。90%以上の参加者がオーストラリアは自分にとって大切な国となり、また訪れたいと回答している。

10. 備考	
--------	--

以上

世界教養学科

春期オーストラリア海外研修に参加して

古村 修人（2023 年度参加）

私はシドニーに約1ヶ月間滞在し、多民族国家ならではの体験をしました。

平日の午前はマッコーリー大学の留学生のための英語の授業を受講しました。テキストを進めるだけでなく、グループでショートフィルムを制作したり、先生が持ってきてくださったオーストラリアのお菓子を食べたりして、さまざまな方法で文化を学びました。午後は大学のプログラムに参加しました。バディープログラムでは現地の学生と交流できました。そこで出会った友人とブルーマウンテンに行き、一生の思い出ができました。また、レクチャーオブザベーションの時間には、現地の学生が受講している講義を見学しました。文学、会計学、医療など幅広い学問を英語で学ぶことができました。キャンパス内では、アボリジナルアートやアボリジナルのための建造物を見ることができました。このことから、アボリジナルの土地や自然に感謝を示しているということを知りました。

私のホストファミリーはイスラエル出身のご夫婦だったので、オーストラリアの文化とイスラエルの文化の両方に触れることができました。ヘブライ語でシャバットと呼ばれる安息日の習慣を体験したり、政治や歴史についてお話を聞いたりしました。また、ホストファミリーから学んだことをより深く知るために、普段あまり見ていなかったニュースや解説を見るようになりました。この研修を通して、文化を学ぶには、現地に赴いたり、現地の人に合わせてみたりしないと分からないことがあると実感しました。今後も海外研修や留学に挑戦し、現地でしかできない学びを追求したいです。